

「考えること」 ジョゼ・ロベルジュ フレンチ・カナダ代表



親愛なるマリアニストの兄弟姉妹、

昨年、パンデミックが発生したケベック州の MLC に起こったこと。私たちは集会を開けませんでした。ビデオ会議を除いて、私たちの間のコミュニケーションを簡単に維持できませんでした。しかし、去年の夏、感染予防対策が取られ、私たちがわずかでも休息の機会を持てた時、約 20 人の私たちのメンバーは、マリアニストセンターと共同で 3 日間の短い黙想を 2 回持つことができました。

また、思考と個人養成の糧になる小さな月刊ニュースレターもあります。最近、私たちの会長のベアトリス・ルブランは、「養成」をテーマにした回覧状を送りました。私たちは彼女の手紙を分析し、私たちの会報を通してそれについて個人的に内省することを約束しました。長いテキストですが、努力する価値は十分にあります。私たちはすでに彼女の手紙に深く関わるいくつかの問題を提案し、私たちは作業を続けます。おそらくそれは私たちの次の黙想の主題になるでしょう。

膨大な量の作業と、基礎教育と継続教育の両方に関係する非常に興味深いアイデアが含まれているため、MLC のすべての人がこの回状（手紙）を利用できるようになることを願っています。私はそうすることをお勧めします：私たちはできる限りそうしましょう、そして国際チーム、私たちの愛するベアトリスに感謝します。

「フレンチ・カナダの信仰教育のために」 マリアニストセンターより

皆さんのことはわかりませんが、私は、2020 年から 2021 年にかけて自分自身を改革しなければならない年と感じています。私たちは、慣れていないテクノロジーを採用し、家族、コミュニティ、そして困っている人々に近づく方法を創造的に考えなければなりません。

信仰教育のためのマリアニストセンターも同じ状況にあります。現在、信徒マリアニストのチームが活発に活動しているので、センターはその創設のカリスマとその使命を損なうことなく自らを適応させることができました。このように、聖霊の息吹の中で新しい道が生まれました。2つの例があります。

1 つ目は、すべての特性を活用することを目的とした革新的な伝道と信仰の教育プロジェクトです。インタラクティブな道が生まれました。『ラウダート・シ』からインスピレーションを得て、環境的側面と創造の美しさを取り入れながら、老若男女が靈性を育むことができる信仰の道を作り上げています。一人で、家族で、またはグループで歩みを進めることが可能であり、必要に応じて個人向けに準備された活動方針の恩恵を受けることができます。美しい、利用可能な旅がすでに提案されています。これはすべて神の摂理によるものです。実際、思い起こせば、センターは過去 20 年間、寄付してくださる方々の寛大さによって運営されてきました。少数を除いて、すべての協力者はボランティアであり、このためには私たちが祈り、神の意志を探し続ける必要があります。イエスは次のように語られましたね。「最初に神の国とその正義を求めなさい。そうすれば、残りはすべてあなたに与えられるでしょう」。[\(Photos sentiers \(1\).docx\)](#)

第二に、ケベック教区とのより緊密なパートナーシップにより、センターは私たちの司教たちによる提案を支援できるようになりました。教区は、今、カトリック教徒と司牧のチームに成人の信仰教育を優先的に行うように求めています。これを行うために、人々が信仰で進歩することができる小さなグループまたはセルである「家 (houses)」のアニメーターを訓練することを提案しています。マリアニストのカリスマとは、私たちがすでにこのようなやり方で取り組んでいることを意味します。シャミナード師の会衆は新しい仕事を引き受けていますが、それでも伝道という使命に関連しています。センターは、設立以来おこなってきたように、小さなコミュニティリーダーの養成とコミュニティと共に歩む人にその役割を果たせることをうれしく思っています。このパートナーシップは教会のつながりを強化し、非常に重要です。

聖霊が私たちを啓発し続け、私たちのマリアニストのカリスマが私たちの兄弟姉妹に奉仕することを確実にしますように。